

Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り
No.21&22合併号 2016.9

No.
21&22
合併号



北海道工場落成式を迎えて

北海道工場が設立されたのは1994年6月。20周年を迎えた2014年、新工場を建設する事が決まりました。

それから動き出して約2年、瞬間に時間が過ぎ去りました。レイアウト等々から始まり、新しい工場がどんどん出来て行く様子を見るのは、毎日非常に楽しみでした。そして記念すべき日を迎え、感激の一言です。



北海道新工場



ここまで決して楽ではない道のりでしたが、完成した新工場のお陰で全てが報われたと感じています。御指導、御協力頂いた皆様には本当に感謝してもきれません。

落成式が5月13日に執り行われ、冒頭で栗原社長より、「一般的に見ても落成式は一生に一度有るか無いかで、皆さんはこの経験を大切に、誇りに思ってください」と話されました。立派な工場に適った職能と人格が共に秀でた社員による優れた仕事を、我々北海道工場全員が一丸とな

り、形にしていかなければならないと強く感じています。そしてこの素晴らしい設備を活かし、新たな挑戦と、より良い製品を皆で創り上げていきます。

食堂となる『山海楽』は景色、デザインが素晴らしく、雰囲気も非常に良く心落ちつきながら食事が出てきます。カウンターで景色を眺めながらの食事は最高です。階段、会議室等至る所に絵が飾られており、癒されています。新しく生まれ変わった北海道工場にご期待ください。

北海道工場製造課 日和健一



食堂「山海楽」

合併号だね・・・



大阪市女性活躍リーディングカンパニー最優秀賞受賞

2015年12月、「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の認証を取得致しましたことはKWS No.20でご紹介させていただきましたが、この度2016年3月、市長表彰最優秀賞を受賞いたしました。最優秀賞は、認証された94団体の内、大阪ガス(株)、大和ハウス工業(株)と当社3団体が受賞しております。

チャレンジ昇格制度、育児支援、パート社員支援制度等、性別にとられない積極的な人材育成制度が評価されました。5月16日、本町にあるホテルヴィアール大阪にて受賞企業の代表として「女性活躍の取り組みについて」総務部、人材部の女性社員で発表して参りました。

これからも経営理念を体現する組織文化確立に向け、力を合わせて取り組んでいきます！

人材部 福田 真美子



8月に「シドニー遊彩―蔡國華とめぐり、この美しい文化遺産も9通りの個性によって表現されました。」

これは7月に行われたシドニースケッチツアーで現地を描きあげた作品を展示したものです。今年は少し趣向を変え、12点の蔡國華作品に加えツアー参加者9名の作品も一堂に展示しました。

シドニーをそれぞれの視点で捉えた作品は、エネルギー感のばかり。また、全員が共通モチーフとしてオーストラリアのシンボルでもあるオペラハウスを描



▲展示風景

シドニー遊彩〜スケッチ展〜



▲搬入後の生徒の皆さん

そして、それらの思い出と共にそれぞれの力作をまとめた冊子も作りまし

蔡國華作品と今回の展示作品に全員のコメントや旅のスナップなどを添えた旅日記風の図録は、来場者からも好評でした。



▲図録「シドニー遊彩」

草木染めの着物

長谷川 直子

昨年初めて「Meri Xmas展」に、画空間をお訪ねしました。素敵でデザイン性のドアを押すと美しい白い灯りをともした空間の中、白いソファに暖かい眼差しの明理さんがいらっしやいました。私はこの眼差しに2度お会いしていました。表参道の画廊での2人展の時と、銀座での個展の時と。当時、銀座には10年前の明理さんのお母様もいらしていただきました。

このような経緯がありまして、画空間で私の染織展のお話になりました。着物は着る人も、創る人も減っています。日本の魂が宿っていると思います。草木染めの着物は、絹糸の光沢と相まって、静かな輝きを増し、何かを語りかけてくるように感じます。

私にとって一枚の着物を織り上げるには、どの過程も「入魂」を必要とします。



長谷川 直子
〈プロフィール〉

20年間手がけてきたスウェーデン織りをやめ、草木染作家山崎和樹氏のもとに一年間通い、さらに45歳から大塚末子氏創立の専門学校工芸染織科に入学。1993年、全日本新人染織展に初入選。その後4年連続で入選。横浜シルク博物館主催の染織展でも2度の入選を果たす。2004年、リビングデザインセンターで開かれた『布くし・展 日本の布200選』に出展。

2016

7月2日(金)から8日(金)までの間、「2016・夏」蔡國華作品展が開催されました。

蔡國華展

先立って展示された銀座井上画廊での個展の作品を、蔡國華先生自らが画空間の展示スペースに合わせてレイアウトしました。格式ある重厚な赴きのある井上画廊とはまた一味違った、開放感のある明るく白い壁と柔らかな照明のもとで温かみのある新しい展示風景となりました。



大胆な趣きで、直で感じとれるようなインパクトのある展覧会でした。

また初日オープニングパーティーでは、ベリダンサーをモデルに、「蔡國華ライブドロ잉」が行われました。生で見るとスピード感のある筆さばきに多くの来場者から感嘆の声が上がりました。



▲ライブドロ잉



▲展示会風景

染織展 長谷川直子



7月18日(月)〜23日(土)まで、画空間にて長谷川直子さんによる着物の染織展が開催されました。

画空間で着物を展示するのは初の試みです。長谷川さんは20年余りスウェーデン織りという手法で制作を続けていきましたが、オーストラリアへの旅行で現地の天然染めの技術に触れたことがその後の活動を大きく変える契機となったといえます。縦横の生糸の織りな



▲鎮魂の海

す複雑な模様もそれらの長い経験が生かされています。会場には天然の生糸を使用して織られた着物。長谷川さんがこだわって集められた小物や色とりどりの染色の見本、細かな図案など様々な作品が並びました。織物は天然の絹、綿糸を用いて全て手作業で仕上げられています。そして生糸は自然の草木・金属等から様々な美しい色合いに染上げられたものです。長いものでは一年程かけて丁寧に仕上げられた着物は、海や秋の野原、草花を表現しており、さまざまに表情を変え、四季の情景が目に見えかぶようです。普段とはまた違った趣きの展示でしたが、会場は雅な香りに満たされ、足を踏み入れた方々もゆっくりとした時間を味わう一週間でした。

全社旅行

〜沖縄〜

6月2日から3日間、2年ぶりの全社旅行で全国から総勢96名が沖縄に集合しました。

到着後は、ホテルのビーチで4チーム対抗の大運動会が開催されました！



▲運動会王入れ

工夫を凝らした玉入れや、相撲、リレーなど6種目が行われ、お腹を抱えながらの笑いとお腹の中、応援の中、沖縄の暑さにも負けない白熱

した闘いが繰り広げられました。運動で汗を流した後は、沖縄料理とお酒に舌鼓を打ちました。島唄と島太鼓の生演奏もあり、ゆったりとした沖縄の夜を満喫しました。2日目は美ら海水族館や、グラスボート、釣りなどいくつかのコースに分かれ、各々豊かな自然とさわやかな海の風を肌で感じていました。今春の新社員9名はレンタカーで万座毛や古宇利大橋などへドライブを楽しみました。

3日目は首里城と国際通りを観光しました。天候にも恵まれ、青空に首里城の赤が映えていました。大変充実した3日間、早くも次回の全社旅行を楽しみにしながら日々頑張っています。

技術開発課 田中 紗成

QCDOC開催

〜北海道〜

7月8日から9日、先日落成したばかりの北海道工場にてQCDOC発表会が開催されました。本発表会は昨年「QCDOC改善発表会」と「組織文化浸透発表会」とが統合されて誕生し、今年が第2回目となります。



▲技能オリンピック

名前の由来は、QC D & Organizational (組織) Culture (文化) O C C の合体です。QC Dの観点だけでなく、当社の組織文化に適った仕事の仕方、意識、振舞いに焦点を合わせた発表となっています。

今回は、全国の工場・加工所・営業所から全9チームが参加し、日々の業務の中の自分たちの取り組みについて発表を行いました。各チームとも全員で知恵を出し合って取り組んでいる様子が伝わり、この1年間で全社的な成長を強く感じさせる発表会となりました。

また発表の手法についても工夫が凝らされており、動画を駆使するチームやロールプレイング形式で寸劇を行うチームもあるなど完成度の高い発表が相次ぎ、審査員を悩ませる程でした。なお今回のQCDOC発表会は技能オリンピックと同時に開催となっており、各部門が日頃の業務で鍛錬している数々の技能を競い合う光景を間近で見学することができ、こちらも非常に大きな盛り上がりを見せました。

技術開発課 梅原 雄介

潮まつり2016

7月30日(第50回)潮まつり、潮ねりこみクリン化成(株)「満ち潮隊」として65名で参加させて頂きました。今年は潮まつりが50周年という事もあり盛り上がりも最高の中、スタートしました。97グループ約1万人のおどり手が参加。一昨年は特別賞、そして昨年は優勝し、今年は連覇に向かって頑張りました。天候にも恵まれ纏まりのある力強い踊りを行なう事が出来、また沿道の皆



北海道工場製造課 守村 誠二